
平成 30 年度
事業計画・収支予算書



社会福祉法人 横浜市中区社会福祉協議会

平成 30 年度 中区社会福祉協議会 事業計画

様々な社会問題に対して国は「地域共生社会づくり」を基本方針として、地域の福祉力の強化を進めようとしています。

こうした中、横浜市では区社協と地域ケアプラザに生活支援コーディネーターを配置し、これまで取り組んできた地域支援・個別支援の経験を活かしながら生活支援体制整備事業を進めています。

本会では、これらの取組や地域共生社会に向けた方針が出される以前から「身近な地域のつながり支えあい活動推進事業」を基盤として「地域に住んでいる一人ひとりが生き生きと安心して暮らせるまちづくり」を進めてきました。具体的には「見守り力“えん”結び」と「健康づくり 元気いっぱい」という中区地域福祉保健計画中なかいいネ！の2本柱の実践を通じて、地域住民の皆さんや関係機関等と協力しながら“支えあいの地域づくり”に取り組んでいるところです。

これからも区役所福祉保健センターと連携し、区内6箇所地域ケアプラザとともに、特に生活支援コーディネーター、地域活動・交流コーディネーターと密に連携をとりながら課題の把握とその解決に向け、一体的な地域支援に取り組んでいきます。

これらの展開は、第3期中区地域福祉保健計画「中なかいいネ！」（平成28年度～平成32年度）の地区別計画の具体的な推進にもつながっています。

また、平成30年度は、第3期の「中なかいいネ！」の中間年となることから、活動内容の総括を地域の皆さまや関係機関と行い、後期の活動につなげる大事な年となっています。

<中なかいいネ！ 計画推進の“2本の柱”>

I 中なかいいネ！ で“えん”結び！【中区は地域の「見守り力」を高めます】

中区では 縁（えん） 地域の人同士が顔見知りになり結びつき
円（えん） つながりが広がって輪になって
援（えん） いざとなった時に支援の手が確実に届く
ように取り組んで、地域の見守り力を高めます！

II 中なかいいネ！ で元気いっぱい！【中区はまちぐるみで「健康づくり」をめざします】

中区では 健康なからだ 生活習慣病を予防し健康寿命を延ばします
健康なこころ 誰もが心健やかに暮らせるまちをめざします
健康なまち 誰もが安心して暮らせるまちをめざします
を目標に取り組めます！

<中なかいいネ！ 取り組みを支える“3つの土台づくり”>

- ①交 流 【地域の様々なネットワークを強くします】
地域活動と広域活動をつなぐ仕組みをつくります
- ②情 報 【地域が必要とする情報が共有できるようにします】
担い手を支援する情報共有の仕組みをつくります
- ③人 材 【中区の人材・資源を活かした取組を進めます】
次代を見据えた人材の発掘・育成を行います

◆平成 30 年度 重点取組◆

重点1 地域の支えあい活動の充実（見守り機能の拡充）

地域住民や地区社協をはじめとする各団体や企業、施設など多様な主体が連携し、地域ぐるみで困りごとを支えていく取組を拡充します。

各地域で活発に行われているサロンや食事会などは、参加者同士の交流・孤立防止につながるとともに、日常的な住民相互の見守りの場として特に重要な役割を担っています。

本会はこれらの活動への支援を拡充することで、普段の暮らしのなかで“ちょっとした変化”を見逃さず深刻な状況になる前に支援者や相談機関につないでいけるよう、しくみづくりを進めます。

重点2 地区社会福祉協議会活動の充実

地区社協は、ネットワーク組織として地域の様々な団体が会員となっていることから、住民一人ひとりの生活課題を地域全体で受けとめ、お互いに支えあえるまちづくりを進めていくことが期待されています。

個々の課題を解決できる地域づくりに向けて、平成 29 年度に全面改訂した「地区社協のてびき」の内容を積極的に地域に発信し、地区社協分科会との連動を図りながら地区社協活動の発展に向けて支援を行います。

重点3 中区地域福祉保健計画「中なかいいネ！」の推進

第 3 期中区地域福祉保健計画 中なかいいネ！の 2 本の柱である「見守り力」と「健康づくり」を中心とした取組を充実します。

また、平成 30 年度は推進期間（H28～H32）の中間年にあたることから、進捗状況などについて振り返りを行います。振り返りの結果は、中なかいいネ！のさらなる推進に活かすとともに、次期（第 4 期）計画の策定に向けた基礎資料として活用します。

重点4 新たな福祉保健人材の養成

地域で見守り力を高めていくためには、より多くの方々の参加と協力が不可欠です。

ちょっとした困りごとを地域で解決できるよう、生活支援ボランティアなどを通じて福祉活動を担う人材の養成を進めながら、地域ケアプラザ等との連携により各地域で「ボランティア活動の場（活躍の場）づくり」を行います。

また、企業数が多いことや観光地であること、外国人が多いという中区の特徴を踏まえ、さらに社会福祉法の改正など全国的な動向にも注視しつつ、企業や社会福祉法人など“多様な主体”の参画を積極的に支援します。

平成30年度 中区社会福祉協議会 事業計画目次

I	みんなで支えあう地域づくりのために	
1	福祉の啓発・広報活動	3
2	中区地域福祉保健計画 中なかいいネ！推進事業	3
II	住民の主体的活動への支援のための事業	
1	地区社協活動への支援	4
2	身近な地域のつながり・支えあい活動推進事業の推進	5
3	生活支援体制整備事業	5
4	地域ケアプラザとの連携・支援	6
5	地域福祉保健活動への支援事業	6
III	福祉教育やボランティア活動の活性化	
1	福祉教育の推進	7
2	中区福祉保健活動拠点なかふく及び中区ボランティアセンターの運営	7
3	災害ボランティアセンター設置に向けた取り組み	9
4	善意銀行・ボランティアセンター運営委員会の運営	10
5	外出・社会参加の支援	10
IV	福祉の情報提供と相談	
1	情報提供	10
2	相談	10
3	生活福祉資金貸付事業	11
4	小災害見舞金・交通遺児援護事業	11
V	当事者の組織化、社会参加促進のための事業	
1	高齢者福祉	12
2	障害者福祉	12
3	子育て支援事業	13
4	中区社協あんしんセンターの運営	13
5	移動情報センター事業	13
VI	法人運営	
1	本会の体制強化	14
2	その他	14

《本書の構成》

事業計画の各項目については「中なかいいネ！ 第3期中区地域福祉保健計画」の、どの区分に該当するのかについて、以下の番号で表示します。

I 中なかいいネ！ で“えん”結び！ ①交流 ②情報 ③人材

II 中なかいいネ！ で元気いっぱい！ ①交流 ②情報 ③人材

また重点取組に該当する項目には、＜重点1＞のように表示します。

I みんなで支えあう地域づくりのために

1 福祉の啓発・広報活動

[サービス区分・予算額：法人運営、共同募金配分事業・1,884千円]

- (1) 中なかいいネ！発表会&第34回中区社会福祉大会 〈重点3〉 I①・I②
社会福祉功労者顕彰及び社会福祉の啓発と推進中間年となる「中区地域福祉保健計画 中なかいいネ！」発表会を行い、区民の交流を図ります。
- (2) 区民への情報提供 I②・II②
広報紙やホームページを通じて、区民への福祉啓発・情報提供を行います。
さらに、タウン紙・広報よこはま中区版の他、ハローよこはま等各種イベントも活用し、幅広い媒体を活用して情報提供に努めます。
・広報紙「社協瓦版 ふくしなか」 年4回発行 **拡充**
・ホームページ、ツイッターなどでの情報提供（通年）
・タウン紙・広報よこはま中区版・各種イベントへの情報提供（通年）
- (3) 中区いいところ撮り I②・II②
地域活動や施設の取組など「中区のいいところ」をテーマに投稿写真を募集、キャッチコピーを付けてホームページや広報紙で広く紹介します。
ボランティア活動・地域活動をより身近に感じ知ってもらうことと併せ、中区が良いまちであることを改めて共有し、維持・発展していくことへの協力を募ります。
- (4) 会員研修 I③・II③
本会会員を対象として、技術や専門性の向上や課題への対応等を目的に研修会を開催します。

2 中区地域福祉保健計画 中なかいいネ！推進事業

[サービス区分・予算額：福祉活動推進事業・900千円]

- (1) 中区地域福祉保健計画 中なかいいネ！推進事業〈重点3〉 I①・I②
本会が取りまとめる横浜市地域福祉活動計画と一体的に策定した第3期「中区地域福祉保健計画 中なかいいネ！」(H28～H32)について、計画の柱立てに沿った取組を推進するとともに、各地区で進められている地区別計画の支援を行います。
また、平成30年度は計画推進3年目となりますので、進捗状況の振り返りを行い、結果を次期計画（第4期計画）の策定に活かしていきます。
- (2) 東日本大震災復興支援事業 I①・I③
中区地域福祉保健計画 中なかいいネ！の『4D活動』として「港町」でつながる中区と、大船渡市を中心とする三陸地方（岩手県大船渡市・陸前高田市・釜石市等）が、これからも強い絆で結ばれ、一日も早い復興を支援するために復興支援事業（募金活動や被災地特産品の販売等）を実施します。
- (3) 社会福祉法人など多様な主体の参加による地域支援 II③
中なかいいネ！では多様な主体の参加による地域支援を進めていますが、本会では特に社会福祉法の改正により地域からの期待が高まっている「社会福祉法人・施設」の皆さんが施設の特徴を活かしながら身近なエリアで役割を果たせるよう、支援を行います。

Ⅱ 住民の主体的活動への支援のための事業

1 地区社協活動への支援

[サービス区分・予算額：地区社協活動支援事業、共同募金配分事業、善意銀行運営・3,325千円]

(1) 地区社協活動助成金の交付〈重点2〉 I①・I②・I③

地区社協の運営と活動の推進を目的として各種助成金を交付します。

(2) 地区社協研修会の実施〈重点2〉 I③・II③

① 地区社協研修会 **拡充**

平成29年度に改訂された「地区社協のてびき」を活用して、地区社協役員及び実務者を対象とした研修会を実施し、情報や課題の共有化を図ります。

また、必要に応じて市内・外で行われている先進的な地区社協活動の見学研修を行います。

② 地区社協キャラバンの実施 **新規**

地区社協の機能や役割をより深くご理解いただくため、各地域の集まりやイベントに本会職員が出張して住民の皆さんと情報共有・意見交換を行う「地区社協キャラバン」を実施します。

・平成30年度：4地区（予定）

③ 地区社協「出張ボランティア」ミニ講座

サロンや食事会、イベントなどで役立つ趣味の活動や、落語・楽器の演奏あるいは介護予防に関する講演など、地区の活動場所に講師が出向いて実施する「出張ミニボランティア講座」のメニュー内容の充実を図り、地域の活動を広げていきます。

(3) 地区別計画推進のために〈重点3〉 I①・I②・I③

地区社協の活動支援や情報提供のため、地区社協分科会や地域支えあいネットワークなどの場を有効活用します。

また、第3期中区地域福祉保健計画 中なかいいネ！においては、地区社協が地区別計画推進の中核を担う団体の一つと考え、活動をサポートしていきます。

(4) 地域見守り活動の支援〈重点1〉 I①

より多くのひとり暮らし高齢者等を地域で見守っていくために、見守り訪問のきっかけとして、“みまもり安心グッズ「おふくろさん」(防災用品等詰合せ)”を地区社協、民生委員・児童委員、自治会町内会、区役所協働で配布し、地域で支援の必要な人の把握と見守りのしくみづくりを進めます。

おふくろさんグッズ

基本グッズ：懐中電灯、笛、レジャーシート、緊急連絡先カードなど

追加グッズ：各地区で対応（単価上限200円）

(5) 各地区社協活動の情報発信 I②・II②

各地区社協で進められている地域活動情報を本会のホームページや広報紙などで広く発信します。

2 身近な地域のつながり・支えあい活動推進事業の推進

[サービス区分・予算額：法人運営・155千円]

(1) 身近な地域のつながり・支えあい活動の推進〈重点1〉 I①・I③

地域で見守りや支えを必要とする方や、制度の狭間で支援に結びついていない人など、様々な生活課題を抱えている人たちを深刻な状況になる前に発見し、見守り支えあえるまちづくりを住民の皆さんとともに進めます。

各地区の担当者が地区社協や地域ケアプラザと協働し、地域課題に沿った取組を行います。

① 日常的に見守りあえる「場」の支援 **拡充** I①・II①

地域で行われているサロンや食事は、日常的な住民相互の見守りの場として大変重要な役割を果たしています。

これらの活動支援を拡充するとともに、活動が少ないエリアの情報収集を進め、ニーズに基づき「必要とされる活動」の立ち上げを検討します。

② 子ども食堂ネットワーク（仮称）の立ち上げ **新規** I①

中区内においても、子どもの貧困や孤食が課題となっています。

各地域では子ども食堂や地域食堂などの取組が活発に行われていますが、本会では関係機関等との連携により、各団体をつなぐ「子ども食堂ネットワーク（仮称）」を立ち上げ、情報共有や意見交換を行う場づくりを行います。

③ 課題を抱える子どもを考えるセミナー（仮称）の開催 **新規** I②

子どもの孤立や不登校など、様々な課題を抱える子どもたちを地域で支えることを目的として「課題を抱える子どもを考えるセミナー（仮称）」を開催します。

(2) 地域における課題の把握〈重点1〉 I①・I②・I③

引き続き各エリアの地域ケア会議などに参加して地域課題の把握に努めます。

また、支援を必要とする人の状況を地図で共有落することにより視覚化し、支援の方向性や進め方を考えるきっかけとする「支えあいマップづくり」などのしくみづくりを進めます。

3 生活支援体制整備事業

[サービス区分・予算額：福祉活動推進事業・200千円]

(1) 協議体の開催〈重点1・3〉 I①・I③

関係機関をはじめ住民主体の活動団体やNPO法人、企業等多様な主体が、情報共有や地域課題の検討を行い、必要に応じて社会資源の創出等に取り組むための協議体を開催します。

また、主に地域ケアプラザエリアや連合エリアを単位として実施されている協議体に、必要に応じて本会職員（1層生活支援コーディネーター等）が参加します。

(2) 2層生活支援コーディネーターとの連携

日常生活圏域を活動エリアとする地域ケアプラザの2層生活支援コーディネーターと連携しながら、一体的に地域支援に臨みます。

また、情報提供や研修の実施を通じて2層生活支援コーディネーターを支援します。

(3) 生活支援コーディネーター連絡会の開催〈重点1〉 I①・I②・I③

区域・日常生活圏域の情報や課題を共有し、地域の状況に合わせ生活支援・介護予防等に関する地域活動を推進するため、生活支援コーディネーター、区役所、区社協による連絡会を開催し、一体的な地域支援に向けて連携を進めます。

4 地域ケアプラザとの連携・支援

〔サービス区分・予算額：福祉活動推進事業 82 千円〕

(1) 一体的な地域支援の拡充 I①・I②・I③

住民にとって一番身近な福祉の相談窓口である地域ケアプラザとこれまで以上に密に連携し、一体的に地域支援を進めます。

また、それぞれが持つ情報を共有し、福祉教育、権利擁護事業の啓発、障害児余暇支援等について、相互に協力しながら地域展開を図ります。

(2) 地域活動・交流コーディネーター会議の開催〈重点1・3〉 I①・I②・I③

地域活動・交流コーディネーターは全世代を対象として支えあいのまちづくりを進めていますが、本会では各地域ケアプラザの地域活動・交流コーディネーターがこれまで以上に活動しやすい環境づくりを目指して、次の取組を行います。

① 地域活動・交流コーディネーター連絡会の開催

区域・日常生活圏域の情報を共有し、地域の実情に合った福祉保健活動を推進すると同時に、地域支援に関わる職員のスキルアップ等を図るために、地域ケアプラザ・区役所・区社協や関係機関職員等による連絡会を開催し、一体的な地域支援に向けて連携を進めます。

② 研修会等の実施 **拡充**

地域活動・交流コーディネーターが業務をより効果的に進めていくためのスキル取得・知識向上を目的として、研修等を実施します。

③ 生活支援コーディネーターとの連携

地域活動・交流コーディネーターと生活支援コーディネーターが課題の共有を図れる場をつくります。

(3) 関連会議への参加 I①・I②

地域ケアプラザや関係機関等との連携を進めるとともに、地域支援についての具体的な情報交換や支援方針の共有を目的として、関連の会議に参加します。

- ・中区施設長会議、社会福祉職会議、地域包括支援センター連絡会、地域支援チーム会議、地域支えあいネットワーク会議、地域ケア会議など

5 地域福祉保健活動への支援事業

〔サービス区分・予算額：共同募金配分事業、善意銀行運営、中区社協助成金配分事業・8,015 千円〕

(1) なかく ふれあい助成金〈重点4〉 I③・II③

主に中区内で進められている身近な地域の支えあい活動や障害当事者活動の継続実施を支援し、さらに新たな課題に対応する住民主体の活動を促進するため、「なかく ふれあい助成金」制度を運営します。

今年度は助成金をより効果的に活用いただくことを目的として、助成区分を活動ごとに整理、さらに人数や回数などの助成要件や上限金額を全区統一基準とした新制度を運用します。また、関連する助成金制度の検討を行います。

(2) 高齢者食事サービス団体連絡会 I①・I③

食事の提供を通して高齢者などの見守り活動を行っている高齢者食事会やサロン活動実施団体に対し、食品衛生や食をテーマにした知識習得のための研修・情報交換等を行います。

Ⅲ 福祉教育やボランティア活動の活性化

1 福祉教育の推進

[サービス区分・予算額：ボランティアセンター事業・87千円]

(1) 福祉教育の相談調整・支援〈重点4〉 I③・II③

学校や企業での福祉教育の企画及び実施について相談受付、講師の調整・紹介・派遣及び、教材・機材の貸出等を行います。

(2) 講座企画会・福祉教育連絡会の開催〈重点4〉 I①・I③・II①・II③

講座をより有意義なものとするため、開催校および地域講師（障害当事者、福祉ボランティア、地域ケアプラザ等の福祉施設、企業）が意見交換をする場を設けます。

(3) 先生のための福祉講座 I①・II①・I③・II③

市内18区社協と市社協、市教育委員会の共同事業として、学校の先生を対象とした福祉講座を開催し、福祉教育についての検討や情報交換を行います。

(4) 福祉教育体験講座〈重点4〉 I①・I③

区内在学・在住の小・中学生を対象に、拠点登録団体や区内ボランティアグループ、福祉施設と協働し、障害者理解・国際理解、自己の認識や普段気づかない視点等に気づききっかけとして、福祉教育体験講座を実施します。

(5) 福祉教育用福祉用具の整備 I①・I②

福祉用具・機材の保守整備を行うとともに、必要に応じて購入し、充実を図ります。

2 中区福祉保健活動拠点なかふく及び中区ボランティアセンターの運営

[サービス区分・予算額：ボランティアセンター事業、福祉保健活動拠点運営・14,315千円]

中区福祉保健活動拠点なかふくの指定管理者として、地域における区民の自主的な福祉活動又は保健活動のための施設の提供や、福祉・保健活動の担い手であるボランティアの育成・支援を行います。

運営にあたっては運営基本方針を策定し、誰もが安心かつ安全に利用できるよう施設管理に取り組みます。また中区地域福祉保健計画「中なかいいネ！」に基づき、地域住民・関係団体・区・地域ケアプラザ等とともに、様々な世代の人やサポートが必要な人が地域社会の一員として活躍し、横につながりあうまちづくりを目指します。

(1) 中区福祉保健活動拠点なかふく管理運営 I①・I②・II①・II②

① 各部屋の貸出

ボランティア活動団体や当事者団体等が適切に会場を利用できるよう施設を運営します。稼働率の低い時間帯について、他機関と連携しながらPRを強化するとともに、特に点字製作室と対面朗読・編集室の利用方法については専門ボランティア

以外についても活用方法の提案を行うなど、稼働率向上を目指します。

また、ボランティア活動がさらに広がっていくことを目指して、また、貸出の調整・登録団体の交流等の機会として利用団体調整会議を開催します。

② メールボックス、ロッカーの貸出

拠点登録団体の事務作業・情報交換などを円滑に推進するため、メールボックスおよびロッカーを貸し出します。

③ 施設・設備の充実

拠点登録団体が使用できるパソコン、コピー機、印刷機やプロジェクター等を備品として揃え、より利用しやすい環境を整備します。

④ 親と子のくつろぎスペース「マリンコーナー」の設置

拠点の立地を活かし、子育て支援と拠点利用の活性化の一貫として、山下公園など拠点付近を散策している子育て中の親子が、仲間づくりや情報交換等を行いながら交流できるスペース「マリンコーナー」を団体交流室内に設置します。

⑤ 福祉保健活動拠点「なかふくまつり」の開催

拠点のさらなる周知と稼働率の向上を目指して、平成29年度に引き続き「なかふくまつり」を開催します。

実施時期：平成30年11月頃（予定）

実施内容：大人も子どもも楽しめる講演会/バルーンアート/手品
作業所のコーヒーコーナーや作品販売 など（予定）

(2) 中区ボランティアセンターの運営〈重点4〉 I②・I③・II②・II③

① ボランティアに関する相談・紹介業務

専門の知識を持ったボランティアコーディネーターが、市民活動・ボランティア活動に関する様々な相談に来館・電話・Eメール等で対応します。また、ボランティアセンターから地域や関係機関等へ出向き、相談を受けやすい関係づくりを進めます。相談を通じて、新たな人材の発見や地域課題の解決に結び付けます。

② ボランティアに関する情報の提供

中区ボランティア連絡会と協働でボランティア情報紙を発行し、ボランティア登録者への送付や区民利用施設での配架により、ボランティア募集や講座情報等を定期的に発信します。

また、本会ホームページやソーシャルメディアを活用し、地域情報を始めボランティアに関する情報を提供するとともに、拠点内に情報コーナーを設置し拠点登録団体及び利用者に対し、福祉保健に関する情報提供を行います。

③ ボランティア活動の支援

活動の継続や、他機関・団体との連携を支援し、情報交換や研修等の機会を提供します。また、ボランティア活動者等が安心して活動ができるよう、本会が窓口になっているボランティア活動保険・行事用保険の受付や、その他ボランティア保険を紹介します。

(3) ボランティアの育成・支援〈重点4〉 I①・I③・II①・II③

① 初めてボランティアをする人を対象とした入門・啓発事業

区内の福祉施設や地域団体と連携し、初めてボランティアをする人でも参加しやすいボランティア活動を提供します。また、ボランティア入門講座を実施し、活動

への理解や関心を深めます。

② 新しい層のボランティアの発掘

これまでボランティア活動への参加が少なかった層が参加しやすいプログラムの実施などを通じて、新たな担い手育成を進めます。

③ テーマ型ボランティア講座

拠点登録団体や地域団体と連携をし、個々の興味に沿って参加ができるテーマ別の入門講座を実施します。

④ ボランティア活動者を対象としたスキルアップ講座

ボランティア活動者のさらなるスキルアップを目指して、活動を深めるための学習の場を提供します。

⑤ 福祉教育の実施

子どもたちに対しては、学校と連携しながら、学校の現状に合わせた効果的な福祉教育の実践（車椅子体験、手話、区内の福祉施設体験等）に拠点登録団体と協働して取り組みます。また、障害者理解・国際理解などをテーマとして「福祉体験講座」を拠点登録団体等との協働により実施します。

さらに、地域団体や企業などに対しても、これまでのノウハウを活かして福祉学習の機会を積極的に提案、提供していきます。これにより、様々な年代に対して、中区への愛着や他者への思いやりの心を育み、意識向上を図ります。

⑥ 生活支援ボランティアの育成 **新規**

生活支援体制整備事業との協働により、生活支援ボランティアニーズに対応できるボランティアの育成・支援を行います。

3 災害ボランティアセンター設置に向けた取組

〔サービス区分・予算額：ボランティアセンター事業・30千円〕

(1) 災害ボランティアコーディネーター連絡会の運営 I②・I③

災害発生時の中区災害ボランティアセンターの設置、及び平常時の災害ボランティアの登録、情報提供、研究、交流等への支援・運営をボランティア連絡会と協働して担います。

(2) 災害ボランティア講演会の開催 I②・I③

災害ボランティアコーディネーター連絡会と協働し災害ボランティア活動及び減災への啓発を目的として、災害ボランティア講演会を開催します。

(3) 災害ボランティアセンター設置に備えて I①・I②・I③

中区の被災を想定し、災害ボランティアコーディネーター連絡会と協働で勉強会を実施します。また、発災時に地域防災拠点と円滑な連携がとれるように、防災訓練への参加等を通じて地域との関係構築を図ります。さらに、災害ボランティアセンター設置・運営に関するマニュアルを再整備して区役所等と共有します。

4 善意銀行・ボランティアセンター運営委員会の運営

[サービス区分・予算額：善意銀行運営・2,500千円]

(1) 善意銀行の運営 I①・II①

区民の皆様からいただいた善意の金品をお預かりし、助成金として、区内で展開される社会福祉事業へ配分します。また、企業や市民への周知に努めます。

(2) ボランティアセンター運営委員会の開催（年3回） I①

善意銀行の運営、事業計画実施内容の検討、経過報告等を行い、中区ボランティアセンターの適正な運営を図ります。

5 外出・社会参加の支援

[サービス区分・予算額：送迎サービス事業・3,285千円]

(1) 中区送迎サービス・横浜市外出支援サービス I①・I③

送迎ボランティアグループ「葦の会」との協働で、区内在宅高齢者・障害児者等の公共の交通機関での移動が困難な方の通院や行政機関での手続き・余暇活動への参加等のための自動車による送迎サービスを実施します。担い手の研鑽・育成も行います。

IV 福祉の情報提供と相談

1 情報提供

(1) 区民への情報提供（再掲） I②・II②

広報紙やホームページなどを通じて、区民への福祉啓発・情報提供を行います。

さらに、タウン紙・広報よこはま中区版の他、ハローよこはま等各種イベントも活用し、またSNS等を通じてタイムリーな情報提供に努めます。

2 相談

(1) 一般相談 I①・I②

本会の業務全般を通して随時相談に応じ、解決手段や適切な情報提供をします。寄せられた課題を共有化し、解決の方向性について検討します。

(2) 苦情解決 I①

本会の事業やサービスに関するご要望や苦情を受け付け、適切な対応をするとともにサービスの向上を図ります。

(3) 窓口満足度調査 I①・I②

本会の窓口等を利用される方に調査を行い、調査結果をもとに本会のサービス改善・向上を図ります。

(4) ご意見箱の設置 I②・II②

本会窓口にご意見箱を設置し、通年の区民ニーズの把握に努めます。また、横浜市社会福祉協議会ホームページでも電子ご意見箱を設置しサービス改善に努めます。

3 生活福祉資金貸付事業

[サービス区分・予算額：法人運営・3,240千円]

(1) 生活福祉資金貸付 I①・I②

低所得者世帯や高齢者世帯、障害者世帯を対象に、生活の向上や自立支援を目的とした貸付事業を民生委員の協力のもと支援します。

(2) 総合支援資金貸付 I①・I②

中区生活困窮者自立相談機関及びその関係機関と連携し、失業等により日常生活全般に困難を抱えている方を対象として、生活の立て直しや経済的自立等を図ることを目的に貸付をします。

(3) 臨時特例つなぎ資金 I①・I②

中区生活支援課及びその関係機関と連携し、離職者を支援する公的給付制度（失業等給付、住宅確保給付金等）又は公的貸付制度（求職者支援制度等）を申請している住居のない離職者に対して、当該給付金等の交付を受けるまでの当面の生活費を貸付けます。

(4) 生活困窮者自立相談支援事業関係機関との連携との協力 I①・I②

「生活困窮者自立支援法」を踏まえ中区生活困窮者自立支援機関及びその関係機関と日頃から連携を図り、情報交換と効果的な支援の在り方について検討していきます。そのため「中区生活困窮者自立相談支援事業 定例支援調整会議」に参画し、関係づくりを積極的に行います。

(5) 生活福祉資金制度の周知の強化 I②

生活福祉資金を生活困窮者の自立支援の一つの支援として、中区生活支援課や中区生活困窮者自立相談支援機関と連携し、中区内の関係機関に貸付の周知を図ります。

(6) 生活困窮者支援の方法の検討 I①・I②

生活福祉資金貸付相談を通じて、関係機関が連携し支援のあり方を検討する場を設けていきます。

(7) 食の支援

経済的に生活に困難を抱えている人に対して、自立支援を目的として、支援関係団体及び地域関係団体と連携して「食」支援を実施します。

4 小災害見舞金・交通遺児援護事業

[サービス区分・予算額：共同募金配分事業、福祉活動推進事業・500千円]

(1) 小災害見舞金の支給 I①

火災、風水害等の災害により住家に被害を受けた罹災世帯に見舞金を支給します。

(2) 交通遺児見舞金・激励金の支給 I①

交通遺児世帯を対象に見舞金・激励金を支給します。

V 当事者の組織化、社会参加促進のための事業

1 高齢者福祉

[サービス区分・予算額：共同募金配分事業・108千円]

(1) 高齢者福祉関係 I①・I②

在宅介護と医療機関の連携を図るための各種会議に出席します。

(2) 敬老月間各種事業への取り組み I①

中区老人福祉大会の共催や中区老人クラブ連合会事業への支援、9月の敬老月間長寿者訪問・老人ホーム訪問等を行います。

2 障害者福祉

[サービス区分・予算額：共同募金配分事業、善意銀行運営・360千円]

(1) 中区障害者団体連絡会（区障連）への支援・協力 I①・I②・I③

① 地域防災訓練への参加

障害者が地域で安心して仕事や生活が出来るように、障害当事者や障害者支援者の防災訓練への参加を、中区障害者団体連絡会とともに支援します。

② ポレポレまつり、大岡川桜まつり等地域交流イベントへの参加

障害者と地域住民との交流の場となる「ポレポレまつり」に実行委員として参画、し、地域活動及び本会の活動紹介をし、併せて助成金を交付します。また大岡川桜まつり等地域イベントへ中区障害者団体連絡会会員と参画し、「障害」理解啓発に取り組みます。

③ ポレポレグッズの販路拡大支援

販路拡大委員会に参加し、区内の障害者施設がつくった製品である「ポレポレグッズ」の販路拡大を支援します。

④ 各種会議への参加

中区障害者団体連絡会、総会・理事会・事務局会議・研修会・防災検討会や他の各種委員会等へ参加し、活動運営を支援します。

(2) 障害児者余暇活動の支援 I①・I②・I③

① 学齢障害児余暇支援事業実施団体連絡会議

区内で学齢障害児余暇支援事業を実施する当事者関係団体、NPO、訓練会、特別支援学校、地域ケアプラザ、福祉施設等が集まり、実施時期、内容について情報交換を行うための連絡会を開催します。

(3) 障害者理解のための啓発活動の実施 I①・I③

中区障害者団体連絡会と協働し、「障害」理解や障害があっても安心して生活できるまちづくりに向けた啓発活動を実施します。

(4) 中区障害者自立支援協議会への参画 I①・I②

中区における障害者等への支援体制に関する課題について情報を共有し、関係機関と連携の緊密化を図るとともに、地域の実情に応じた体制の整備について、運営事務局の一端として協議をしていきます。

(5) 各種委員会・運営委員会への参加 I①・I②

障害者の地域での生活支援を目指し、関係施設を運営する法人および施設の各種会議へ参加・情報の共有化・連携を図ります。

3 子育て支援事業

(1) 親と子のくつろぎスペース「マリンコーナー」の設置(再掲) I①・I②

拠点の立地を生かし、子育て支援と拠点利用の活性化の一環として、山下公園など拠点付近を散策している子育て中の親子が、仲間づくりや情報交換等を行いながら交流できるスペースを設置します。

(2) 子育て応援プログラムの開催 I①・I②

中区地域子育て支援拠点「のんびりんこ」や主任児童委員連絡会など区内で活動する団体等と協働し、子育てに役立つ講座の開催や、親子の広場等の交流の場の開催を支援します。

(3) 子ども食堂ネットワーク(仮称)の立ち上げ **新規**(再掲) I①

中区内においても、子どもの貧困や孤食が課題となっています。各地域では子ども食堂や地域食堂などの取組が活発に行われていますが、本会では関係機関等との連携により、各団体をつなぐ「子ども食堂ネットワーク(仮称)」を立ち上げ、情報共有や意見交換を行う場づくりを行います。

(4) 課題を抱える子どもを考えるセミナー(仮称)の開催 **新規**(再掲) I②

子どもの孤立や不登校など、様々な課題を抱える子どもたちを地域で支えることを目的として「課題を抱える子どもを考えるセミナー(仮称)」を開催します。

4 中区社協あんしんセンターの運営 I①・I③

[サービス区分・予算額：権利擁護事業・657千円]

日常的な金銭や財産関係書類の管理に不安がある高齢者や障害のある方を対象に、生活や金銭管理などの相談に応じ、契約に基づきサービスの提供を行います。

区内の地域包括支援センター等と連携しながら、対象者の増加や多様化に対応し、権利擁護や成年後見制度等の制度の周知や円滑な利用促進を目的に、研修会や説明会を実施します。また、横浜生活あんしんセンター(市社協)と連携し、実務実習受入れ等、市民後見人の養成に取り組みます。

5 移動情報センター事業

[サービス区分・予算額：移動情報センター事業・7,553千円]

(1) 相談窓口の運営 I①・I②

区内在住の障害児者を主な対象として、通学、通所、その他移動に関する相談に応じ、移動の制度についての情報提供や移動支援に関する事業所との適切なコーディネートを行います。

(2) ニーズの収集と整理 I①・I②

移動に関する情報収集のため、障害当事者団体、教育機関、事業所等へのヒアリングを行います。発掘されたニーズについて対応を検討します。

(3) 移動支援に関わる人材育成〈重点4〉 I②・I③

地域や関連機関と協力し、ニーズに対応するための移動支援に関わるボランティア養成講座や体験プログラムを実施します。

(4) 広報啓発活動 I②

年2回「中区移動情報センター通信」を発行。特別支援学校、区内小中学校、区役所、事業所、地域ケアプラザ、区障連会員施設（作業所、グループホーム等）、医療機関等へ配付します。

(5) 推進会議の開催（年4回） I①・I②

障害当事者団体、教育機関、事業所等で構成する推進会議を開催し、事業の現況等に関する意見交換を行い、事業の推進を図ります。

[サービス区分・予算額：移動情報センター事業・260千円]

(6) ガイドボランティア事務取扱 I③

障害のある方の外出付き添いボランティアに対し奨励金が支払われる「横浜市ガイドボランティア事業」の事務取扱を行います。

VI 法人運営

1 本会の体制強化

(1) 理事会・評議員会の開催 I①・I②

本会が行う各種事業の実施体制を強化することを目的として、理事会・評議員会等を開催します。

(2) 各種部会・分科会・委員会の開催 I①・I②

本会が行う各種事業の実施体制を強化することを目的として、部会、分科会、委員会を開催します。

(3) 職員研修の開催 I③

地域福祉の推進を担う本会職員の資質向上を目指し、研修を開催します。

(4) 災害ボランティアセンター設置の検討 I①

区役所関係部課と連携して、災害時に備えて、災害ボランティアセンターの設置方法について検討します。

2 その他

(1) 6団体事務の運営 I①・I③

下記の福祉関係6団体の事務局を担います。

- ・日本赤十字社神奈川県支部横浜市地区本部中区地区委員会
- ・中区安全安心推進協会 ・神奈川県共同募金会中区支会
- ・中保護司会 ・中区更生保護女性会
- ・中区遺族会

平成 30 年度
社会福祉法人横浜市中区社会福祉協議会

一般会計収支予算書

- 1 資金収支当初予算書（法人全体） 16 ページ
- 2 資金収支当初予算書（拠点区分別） 17 ページ
- 3 資金収支予算内訳書（拠点区分別） 20 ページ

法人全体 資金収支当初予算書

平成30年4月

法人：社会福祉法人 横浜市中区社会福祉協議会

1 / 1

(単位：円)

勘定科目	前年度予算額	当初予算額	増減	備考
< 事業活動による収支 >				
< 収入 >				
会費収入	3,300,000	3,300,000	0	
寄附金収入	3,300,000	2,550,000	△750,000	
経常経費補助金収入	12,642,000	13,100,000	458,000	
受託金収入	28,361,000	28,045,000	△316,000	
事業収入	1,359,000	841,000	△518,000	
負担金収入	1,492,000	1,512,000	20,000	
受取利息配当金収入	118,000	117,000	△1,000	
その他の収入	1,400,000	1,050,000	△350,000	
事業活動収入計(1)	51,972,000	50,515,000	△1,457,000	
< 支出 >				
人件費支出	21,430,000	21,220,000	△210,000	
事業費支出	17,729,000	14,832,000	△2,897,000	
事務費支出	3,626,000	3,286,000	△340,000	
分担金支出	1,880,000	1,760,000	△120,000	
助成金支出	13,130,000	12,785,000	△345,000	
負担金支出	270,000	340,000	70,000	
事業活動支出計(2)	58,065,000	54,223,000	△3,842,000	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△6,093,000	△3,708,000	2,385,000	
< 施設整備等による収支 >				
< 収入 >				
施設整備等収入計(4)	0	0	0	
< 支出 >				
施設整備等支出計(5)	0	0	0	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	0	0	0	
< その他の活動による収支 >				
< 収入 >				
サービス区分間繰入金収入	1,632,000	723,000	△909,000	
その他の活動収入計(7)	1,632,000	723,000	△909,000	
< 支出 >				
サービス区分間繰入金支出	1,632,000	723,000	△909,000	
その他の活動支出計(8)	1,632,000	723,000	△909,000	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	0	0	0	
予備費支出(10)	0	14,332,000	14,332,000	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△6,093,000	△18,040,000	△11,947,000	
前期末支払資金残高(12)	16,500,000	18,040,000	1,540,000	
当期末支払資金残高(11)+(12)	10,407,000	0	△10,407,000	

拠点区分別 資金収支当初予算書

平成30年4月

法人：社会福祉法人 横浜市中区社会福祉協議会

事業：社会福祉事業

拠点：法人運営及び区社協実施事業

1 / 3

(単位：円)

勘定科目	前年度予算額	当初予算額	増減	備考
< 事業活動による収支 >				
< 収入 >				
会費収入	3,300,000	3,300,000	0	
正会費収入	3,000,000	3,000,000	0	
賛助会費収入	300,000	300,000	0	
寄附金収入	3,300,000	2,550,000	△750,000	
寄附金収入	3,300,000	2,550,000	△750,000	
経常経費補助金収入	12,642,000	13,100,000	458,000	
市区町村補助金収入	0	260,000	260,000	
横浜市補助金収入	0	260,000	260,000	
市社協補助金収入	6,239,000	6,277,000	38,000	
神奈川県社協補助金収入	300,000	300,000	0	
共同募金配分金収入	6,103,000	6,263,000	160,000	
一般募金配分金収入	3,445,000	3,392,000	△53,000	
年末たすけあい配分金収入	2,458,000	2,650,000	192,000	
たすけあい福祉資金配分金収入	200,000	221,000	21,000	
受託金収入	28,361,000	28,045,000	△316,000	
市区町村受託金収入	22,074,000	21,506,000	△568,000	
横浜市受託金収入	21,674,000	21,106,000	△568,000	
区受託金収入	400,000	400,000	0	
都道府県社協受託金収入	3,223,000	3,240,000	17,000	
神奈川県社協受託金収入	3,223,000	3,240,000	17,000	
市社協受託金収入	3,064,000	3,299,000	235,000	
事業収入	1,359,000	841,000	△518,000	
参加費収入	20,000	15,000	△5,000	
利用料収入	1,039,000	826,000	△213,000	
手数料収入	300,000	0	△300,000	
負担金収入	1,492,000	1,512,000	20,000	
負担金収入	1,492,000	1,512,000	20,000	
利用料等負担金収入	380,000	400,000	20,000	
負担金収入	1,112,000	1,112,000	0	
受取利息配当金収入	118,000	117,000	△1,000	
その他の収入	1,400,000	1,050,000	△350,000	
雑収入	1,400,000	1,050,000	△350,000	
事業活動収入計(1)	51,972,000	50,515,000	△1,457,000	
< 支出 >				
人件費支出	21,430,000	21,220,000	△210,000	
役員報酬支出	175,000	164,000	△11,000	
職員給料支出	8,602,000	8,602,000	0	
職員俸給	5,197,000	5,197,000	0	
職員諸手当	2,960,000	2,960,000	0	
通勤手当	445,000	445,000	0	
非常勤職員給与支出	10,965,000	10,802,000	△163,000	
法定福利費支出	1,688,000	1,652,000	△36,000	
事業費支出	17,729,000	14,832,000	△2,897,000	
教養娯楽費支出	32,000	21,000	△11,000	
水道光熱費支出	600,000	600,000	0	

拠点区分別 資金収支当初予算書

平成30年4月

法人：社会福祉法人 横浜市中区社会福祉協議会

事業：社会福祉事業

拠点：法人運営及び区社協実施事業

2 / 3

(単位：円)

勘定科目	前年度予算額	当初予算額	増減	備考
消耗器具備品費支出	1,662,000	1,231,000	△431,000	
消耗品費支出	1,452,000	991,000	△461,000	
器具什器費支出	210,000	240,000	30,000	
保険料支出	171,000	76,000	△95,000	
賃借料支出	1,362,000	1,067,000	△295,000	
車輛費支出	530,000	303,000	△227,000	
諸謝金費支出	1,405,000	1,110,000	△295,000	
旅費交通費支出	720,000	297,000	△423,000	
役職員旅費	555,000	297,000	△258,000	
委員等旅費	165,000	0	△165,000	
印刷製本費支出	260,000	281,000	21,000	
修繕費支出	171,000	166,000	△5,000	
通信運搬費支出	1,418,000	1,615,000	197,000	
会議費支出	30,000	32,000	2,000	
広報費支出	1,300,000	1,317,000	17,000	
業務委託費支出	1,859,000	1,746,000	△113,000	
手数料支出	232,000	265,000	33,000	
租税公課支出	1,228,000	946,000	△282,000	
援護費・見舞金費支出	3,080,000	2,800,000	△280,000	
交通遺児援護費支出	300,000	300,000	0	
雑支出	1,369,000	659,000	△710,000	
雑支出	1,369,000	659,000	△710,000	
事務費支出	3,626,000	3,286,000	△340,000	
福利厚生費支出(事務費)	46,000	45,000	△1,000	
旅費交通費支出(事務費)	180,000	120,000	△60,000	
研修研究費支出(事務費)	104,000	94,000	△10,000	
事務消耗品費支出(事務費)	350,000	200,000	△150,000	
事務費消耗品費支出(事務費)	50,000	100,000	50,000	
器具什器費支出(事務費)	300,000	100,000	△200,000	
印刷製本費支出(事務費)	280,000	270,000	△10,000	
水道光熱費支出(事務費)	300,000	260,000	△40,000	
修繕費支出(事務費)	10,000	10,000	0	
通信運搬費支出(事務費)	806,000	904,000	98,000	
会議費支出(事務費)	15,000	17,000	2,000	
業務委託費支出(事務費)	60,000	80,000	20,000	
手数料支出(事務費)	110,000	120,000	10,000	
保険料支出(事務費)	190,000	190,000	0	
賃借料支出(事務費)	302,000	146,000	△156,000	
租税公課支出(事務費)	105,000	60,000	△45,000	
保守料支出(事務費)	380,000	380,000	0	
渉外費支出(事務費)	98,000	190,000	92,000	
諸会費支出(事務費)	260,000	200,000	△60,000	
雑支出(事務費)	30,000	0	△30,000	
分担金支出	1,880,000	1,760,000	△120,000	
分担金支出	1,880,000	1,760,000	△120,000	
助成金支出	13,130,000	12,785,000	△345,000	
助成金支出	13,130,000	12,785,000	△345,000	

拠点区分別 資金収支当初予算書

平成30年4月

法人：社会福祉法人 横浜市中区社会福祉協議会

事業：社会福祉事業

拠点：法人運営及び区社協実施事業

3 / 3

(単位：円)

勘定科目	前年度予算額	当初予算額	増減	備考
負担金支出	270,000	340,000	70,000	
負担金支出	270,000	340,000	70,000	
事業活動支出計(2)	58,065,000	54,223,000	△3,842,000	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△6,093,000	△3,708,000	2,385,000	
< 施設整備等による収支 >				
< 収入 >				
施設整備等収入計(4)	0	0	0	
< 支出 >				
施設整備等支出計(5)	0	0	0	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	0	0	0	
< その他の活動による収支 >				
< 収入 >				
サービス区分間繰入金収入	1,632,000	723,000	△909,000	
その他の活動収入計(7)	1,632,000	723,000	△909,000	
< 支出 >				
サービス区分間繰入金支出	1,632,000	723,000	△909,000	
その他の活動支出計(8)	1,632,000	723,000	△909,000	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	0	0	0	
予備費支出(10)	0	14,332,000	14,332,000	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△6,093,000	△18,040,000	△11,947,000	
前期末支払資金残高(12)	16,500,000	18,040,000	1,540,000	
当期末支払資金残高(11)+(12)	10,407,000	0	△10,407,000	

拠点区分別 資金収支予算内訳書
平成30年度

法人名： 社会福祉法人 横浜市中区社会福祉協議会
事業： 社会福祉事業
拠点： 法人運営及び区社協実施事業

1 / 14
(単位：円)

勘定科目	管理運営	広報啓発事業	企画調査	生活福祉資金貸付等事務	臨時特例つなぎ資金貸付事業	ボランティアセンター運営事業	福祉教育事業	地区社協活動支援事業
< 事業活動による収支 >								
< 収入 >								
会費収入	3,300,000	0	0	0	0	0	0	0
正会費収入	3,000,000	0	0	0	0	0	0	0
賛助会費収入	300,000	0	0	0	0	0	0	0
経常経費補助金収入	320,000	0	150,000	0	0	30,000	80,000	650,000
市社協補助金収入	320,000	0	150,000	0	0	30,000	80,000	650,000
受託金収入	0	0	400,000	3,150,000	90,000	0	0	0
市区町村受託金収入	0	0	400,000	0	0	0	0	0
区受託金収入	0	0	400,000	0	0	0	0	0
都道府県社協受託金収入	0	0	0	3,150,000	90,000	0	0	0
神奈川県社協受託金収入	0	0	0	3,150,000	90,000	0	0	0
負担金収入	462,000	100,000	0	0	0	0	0	550,000
負担金収入	462,000	100,000	0	0	0	0	0	550,000
負担金収入	462,000	100,000	0	0	0	0	0	550,000
受取利息配当金収入	3,000	0	0	0	0	0	0	0
その他の収入	300,000	0	0	0	0	0	0	0
雑収入	300,000	0	0	0	0	0	0	0
事業活動収入計(1)	4,385,000	100,000	550,000	3,150,000	90,000	30,000	80,000	1,200,000
< 支出 >								
人件費支出	164,000	0	195,000	2,574,000	90,000	0	0	0
役員報酬支出	164,000	0	0	0	0	0	0	0
非常勤職員給与支出	0	0	195,000	2,410,000	90,000	0	0	0
法定福利費支出	0	0	0	164,000	0	0	0	0
事業費支出	111,000	229,000	360,000	573,000	0	30,000	87,000	30,000
教養娯楽費支出	11,000	0	0	0	0	0	0	0
消耗器具備品費支出	0	54,000	40,000	80,000	0	20,000	61,000	0
消耗品費支出	0	54,000	40,000	40,000	0	20,000	61,000	0
器具什器費支出	0	0	0	40,000	0	0	0	0
保険料支出	0	0	10,000	0	0	0	1,000	0
賃借料支出	0	0	15,000	0	0	0	0	0
諸謝金費支出	0	0	30,000	330,000	0	0	10,000	0

拠点区分別 資金収支予算内訳書

平成30年度

法人名： 社会福祉法人 横浜市中区社会福祉協議会
 事業： 社会福祉事業
 拠点： 法人運営及び区社協実施事業

2 / 14
(単位：円)

勘定科目	管理運営	広報啓発事業	企画調査	生活福祉資金貸付等事務	臨時特例つなぎ資金貸付事業	ボランティアセンター運営事業	福祉教育事業	地区社協活動支援事業
旅費交通費支出	0	0	120,000	12,000	0	0	0	0
役員旅費	0	0	120,000	12,000	0	0	0	0
印刷製本費支出	100,000	0	10,000	0	0	0	0	0
修繕費支出	0	0	0	0	0	0	6,000	0
通信運搬費支出	0	12,000	15,000	57,000	0	10,000	9,000	0
広報費支出	0	143,000	0	40,000	0	0	0	0
業務委託費支出	0	16,000	105,000	40,000	0	0	0	0
手数料支出	0	0	0	10,000	0	0	0	0
租税公課支出	0	4,000	15,000	0	0	0	0	30,000
雑支出	0	0	0	4,000	0	0	0	0
雑支出	0	0	0	4,000	0	0	0	0
事務費支出	3,127,000	0	0	3,000	0	0	0	0
福利厚生費支出(事務費)	0	0	0	3,000	0	0	0	0
旅費交通費支出(事務費)	120,000	0	0	0	0	0	0	0
研修研究費支出(事務費)	20,000	0	0	0	0	0	0	0
事務消耗品費支出(事務費)	200,000	0	0	0	0	0	0	0
事務費消耗品費支出(事務費)	100,000	0	0	0	0	0	0	0
器具什器費支出(事務費)	100,000	0	0	0	0	0	0	0
印刷製本費支出(事務費)	270,000	0	0	0	0	0	0	0
水道光熱費支出(事務費)	260,000	0	0	0	0	0	0	0
修繕費支出(事務費)	10,000	0	0	0	0	0	0	0
通信運搬費支出(事務費)	904,000	0	0	0	0	0	0	0
会議費支出(事務費)	17,000	0	0	0	0	0	0	0
業務委託費支出(事務費)	80,000	0	0	0	0	0	0	0
手数料支出(事務費)	120,000	0	0	0	0	0	0	0
保険料支出(事務費)	190,000	0	0	0	0	0	0	0
賃借料支出(事務費)	146,000	0	0	0	0	0	0	0
租税公課支出(事務費)	60,000	0	0	0	0	0	0	0
保守料支出(事務費)	380,000	0	0	0	0	0	0	0
渉外費支出(事務費)	150,000	0	0	0	0	0	0	0
諸会費支出(事務費)	200,000	0	0	0	0	0	0	0
分担金支出	1,310,000	0	0	0	0	0	0	0

拠点区分別 資金収支予算内訳書

平成30年度

法人名： 社会福祉法人 横浜市中区社会福祉協議会
 事業： 社会福祉事業
 拠点： 法人運営及び区社協実施事業

3 / 14

(単位：円)

勘定科目	管理運営	広報啓発事業	企画調査	生活福祉資金貸付等事務	臨時特例つなぎ資金貸付事業	ボランティアセンター運営事業	福祉教育事業	地区社協活動支援事業
分担金支出	1,310,000	0	0	0	0	0	0	0
助成金支出	0	0	0	0	0	0	0	1,735,000
助成金支出	0	0	0	0	0	0	0	1,735,000
負担金支出	20,000	0	0	0	0	0	0	0
負担金支出	20,000	0	0	0	0	0	0	0
事業活動支出計(2)	4,732,000	229,000	555,000	3,150,000	90,000	30,000	87,000	1,765,000
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△347,000	△129,000	△5,000	0	0	0	△7,000	△565,000
< 施設整備等による収支 >								
< 収入 >								
施設整備等収入計(4)	0	0	0	0	0	0	0	0
< 支出 >								
施設整備等支出計(5)	0	0	0	0	0	0	0	0
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	0	0	0	0	0	0	0	0
< その他の活動による収支 >								
< 収入 >								
サービス区分間繰入金収入	0	129,000	5,000	0	0	0	7,000	565,000
その他の活動収入計(7)	0	129,000	5,000	0	0	0	7,000	565,000
< 支出 >								
サービス区分間繰入金支出	706,000	0	0	0	0	0	0	0
その他の活動支出計(8)	706,000	0	0	0	0	0	0	0
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△706,000	129,000	5,000	0	0	0	7,000	565,000
予備費支出(10)	1,847,000	0	200,000	0	0	400,000	0	0
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△2,900,000	0	△200,000	0	0	△400,000	0	0
前期末支払資金残高(12)	2,900,000	0	200,000	0	0	400,000	0	0
当期末支払資金残高(11)+(12)	0	0	0	0	0	0	0	0

拠点区分別 資金収支予算内訳書

平成30年度

法人名： 社会福祉法人 横浜市中区社会福祉協議会
 事業： 社会福祉事業
 拠点： 法人運営及び区社協実施事業

4 / 14

(単位：円)

勘定科目	福祉保健活動拠点運営	一般募金配分事業	年末たすけあい配分事業	たすけあい福祉資金	善意銀行運営	外出支援サービス事業	送迎事業費	権利擁護事業
< 事業活動による収支 >								
< 収入 >								
寄附金収入	0	0	0	0	2,300,000	0	0	0
寄附金収入	0	0	0	0	2,300,000	0	0	0
経常経費補助金収入	0	3,392,000	2,650,000	221,000	0	0	0	0
共同募金配分金収入	0	3,392,000	2,650,000	221,000	0	0	0	0
一般募金配分金収入	0	3,392,000	0	0	0	0	0	0
年末たすけあい配分金収入	0	0	2,650,000	0	0	0	0	0
たすけあい福祉資金配分金収入	0	0	0	221,000	0	0	0	0
受託金収入	13,553,000	0	0	0	0	2,722,000	0	377,000
市区町村受託金収入	13,553,000	0	0	0	0	0	0	0
横浜市受託金収入	13,553,000	0	0	0	0	0	0	0
市社協受託金収入	0	0	0	0	0	2,722,000	0	377,000
事業収入	15,000	0	0	0	0	66,000	480,000	280,000
参加費収入	15,000	0	0	0	0	0	0	0
利用料収入	0	0	0	0	0	66,000	480,000	280,000
負担金収入	400,000	0	0	0	0	0	0	0
負担金収入	400,000	0	0	0	0	0	0	0
利用料等負担金収入	400,000	0	0	0	0	0	0	0
受取利息配当金収入	1,000	1,000	0	0	1,000	0	0	0
事業活動収入計(1)	13,969,000	3,393,000	2,650,000	221,000	2,301,000	2,788,000	480,000	657,000
< 支出 >								
人件費支出	8,914,000	500,000	0	0	0	1,846,000	0	0
職員給料支出	4,267,000	0	0	0	0	0	0	0
職員俸給	2,617,000	0	0	0	0	0	0	0
職員諸手当	1,400,000	0	0	0	0	0	0	0
通勤手当	250,000	0	0	0	0	0	0	0
非常勤職員給与支出	3,864,000	475,000	0	0	0	1,826,000	0	0
法定福利費支出	783,000	25,000	0	0	0	20,000	0	0
事業費支出	5,169,000	1,564,000	2,280,000	221,000	0	959,000	430,000	642,000
教養娯楽費支出	10,000	0	0	0	0	0	0	0
水道光熱費支出	600,000	0	0	0	0	0	0	0

拠点区分別 資金収支予算内訳書

平成30年度

法人名： 社会福祉法人 横浜市中区社会福祉協議会
 事業： 社会福祉事業
 拠点： 法人運営及び区社協実施事業

5 / 14
(単位：円)

勘定科目	福祉保健活動拠点運営	一般募金配分事業	年末たすけあい配分事業	たすけあい福祉資金	善意銀行運営	外出支援サービス事業	送迎事業費	権利擁護事業
消耗器具備品費支出	352,000	153,000	0	20,000	0	38,000	0	298,000
消耗品費支出	252,000	153,000	0	20,000	0	38,000	0	198,000
器具什器費支出	100,000	0	0	0	0	0	0	100,000
保険料支出	40,000	13,000	0	1,000	0	10,000	0	0
賃借料支出	550,000	0	0	0	0	454,000	20,000	28,000
車両費支出	0	0	0	0	0	159,000	144,000	0
諸謝金費支出	161,000	100,000	0	0	0	50,000	200,000	0
旅費交通費支出	5,000	0	0	0	0	12,000	0	60,000
役職員旅費	5,000	0	0	0	0	12,000	0	60,000
印刷製本費支出	100,000	0	0	0	0	0	5,000	15,000
修繕費支出	150,000	0	0	0	0	0	0	10,000
通信運搬費支出	1,207,000	30,000	30,000	0	0	33,000	10,000	106,000
広報費支出	100,000	1,008,000	0	0	0	0	0	26,000
業務委託費支出	1,326,000	60,000	0	0	0	60,000	36,000	60,000
手数料支出	18,000	0	100,000	0	0	22,000	0	38,000
租税公課支出	550,000	0	0	0	0	121,000	10,000	1,000
援護費・見舞金費支出	0	200,000	2,150,000	200,000	0	0	0	0
雑支出	0	0	0	0	0	0	5,000	0
雑支出	0	0	0	0	0	0	5,000	0
事務費支出	32,000	40,000	0	0	0	0	33,000	15,000
福利厚生費支出(事務費)	32,000	0	0	0	0	0	0	0
研修研究費支出(事務費)	0	0	0	0	0	0	33,000	15,000
渉外費支出(事務費)	0	40,000	0	0	0	0	0	0
分担金支出	200,000	0	0	0	0	0	0	0
分担金支出	200,000	0	0	0	0	0	0	0
助成金支出	0	3,660,000	0	0	2,500,000	0	0	0
助成金支出	0	3,660,000	0	0	2,500,000	0	0	0
負担金支出	0	320,000	0	0	0	0	0	0
負担金支出	0	320,000	0	0	0	0	0	0
事業活動支出計(2)	14,315,000	6,084,000	2,280,000	221,000	2,500,000	2,805,000	463,000	657,000
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△346,000	△2,691,000	370,000	0	△199,000	△17,000	17,000	0
< 施設整備等による収支 >								

拠点区分別 資金収支予算内訳書

平成30年度

法人名： 社会福祉法人 横浜市中区社会福祉協議会
 事業： 社会福祉事業
 拠点： 法人運営及び区社協実施事業

6 / 14
(単位：円)

勘定科目	福祉保健活動拠点運営	一般募金配分事業	年末たすけあい配分事業	たすけあい福祉資金	善意銀行運営	外出支援サービス事業	送迎事業費	権利擁護事業
< 収入 >								
施設整備等収入計(4)	0	0	0	0	0	0	0	0
< 支出 >								
施設整備等支出計(5)	0	0	0	0	0	0	0	0
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	0	0	0	0	0	0	0	0
< その他の活動による収支 >								
< 収入 >								
サービス区分間繰入金収入	0	0	0	0	0	17,000	0	0
その他の活動収入計(7)	0	0	0	0	0	17,000	0	0
< 支出 >								
サービス区分間繰入金支出	0	0	0	0	0	0	17,000	0
その他の活動支出計(8)	0	0	0	0	0	0	17,000	0
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	0	0	0	0	0	17,000	△17,000	0
予備費支出(10)	304,000	2,309,000	1,270,000	0	4,301,000	0	100,000	0
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△650,000	△5,000,000	△900,000	0	△4,500,000	0	△100,000	0
前期末支払資金残高(12)	650,000	5,000,000	900,000	0	4,500,000	0	100,000	0
当期末支払資金残高(11)+(12)	0	0	0	0	0	0	0	0

拠点区分別 資金収支予算内訳書

平成30年度

法人名： 社会福祉法人 横浜市中区社会福祉協議会
 事業： 社会福祉事業
 拠点： 法人運営及び区社協実施事業

7 / 14
(単位：円)

勘定科目	移動情報センタ ー事業	ガイドボランテ ィア事業	交通遺児援護事 業	被災地支援事業	生活支援体制整 備事業	中区社協助成金 配分事業	福祉基金	合計
< 事業活動による収支 >								
< 収入 >								
会費収入	0	0	0	0	0	0	0	3,300,000
正会費収入	0	0	0	0	0	0	0	3,000,000
賛助会費収入	0	0	0	0	0	0	0	300,000
寄附金収入	0	0	0	250,000	0	0	0	2,550,000
寄附金収入	0	0	0	250,000	0	0	0	2,550,000
経常経費補助金収入	0	260,000	300,000	0	82,000	4,965,000	0	13,100,000
市区町村補助金収入	0	260,000	0	0	0	0	0	260,000
横浜市補助金収入	0	260,000	0	0	0	0	0	260,000
市社協補助金収入	0	0	0	0	82,000	4,965,000	0	6,277,000
神奈川県社協補助金収入	0	0	300,000	0	0	0	0	300,000
共同募金配分金収入	0	0	0	0	0	0	0	6,263,000
一般募金配分金収入	0	0	0	0	0	0	0	3,392,000
年末たすけあい配分金収入	0	0	0	0	0	0	0	2,650,000
たすけあい福祉資金配分金収入	0	0	0	0	0	0	0	221,000
受託金収入	7,553,000	0	0	0	200,000	0	0	28,045,000
市区町村受託金収入	7,553,000	0	0	0	0	0	0	21,506,000
横浜市受託金収入	7,553,000	0	0	0	0	0	0	21,106,000
区受託金収入	0	0	0	0	0	0	0	400,000
都道府県社協受託金収入	0	0	0	0	0	0	0	3,240,000
神奈川県社協受託金収入	0	0	0	0	0	0	0	3,240,000
市社協受託金収入	0	0	0	0	200,000	0	0	3,299,000
事業収入	0	0	0	0	0	0	0	841,000
参加費収入	0	0	0	0	0	0	0	15,000
利用料収入	0	0	0	0	0	0	0	826,000
負担金収入	0	0	0	0	0	0	0	1,512,000
負担金収入	0	0	0	0	0	0	0	1,512,000
利用料等負担金収入	0	0	0	0	0	0	0	400,000
負担金収入	0	0	0	0	0	0	0	1,112,000
受取利息配当金収入	0	0	0	1,000	0	0	110,000	117,000
その他の収入	0	0	0	750,000	0	0	0	1,050,000

拠点区分別 資金収支予算内訳書

平成30年度

法人名： 社会福祉法人 横浜市中区社会福祉協議会
 事業： 社会福祉事業
 拠点： 法人運営及び区社協実施事業

8 / 14
 (単位：円)

勘定科目	移動情報センター事業	ガイドボランティア事業	交通遺児援護事業	被災地支援事業	生活支援体制整備事業	中区社協助成金配分事業	福祉基金	合計
雑収入	0	0	0	750,000	0	0	0	1,050,000
事業活動収入計(1)	7,553,000	260,000	300,000	1,001,000	282,000	4,965,000	110,000	50,515,000
< 支出 >								
人件費支出	6,937,000	0	0	0	0	0	0	21,220,000
役員報酬支出	0	0	0	0	0	0	0	164,000
職員給料支出	4,335,000	0	0	0	0	0	0	8,602,000
職員俸給	2,580,000	0	0	0	0	0	0	5,197,000
職員諸手当	1,560,000	0	0	0	0	0	0	2,960,000
通勤手当	195,000	0	0	0	0	0	0	445,000
非常勤職員給与支出	1,942,000	0	0	0	0	0	0	10,802,000
法定福利費支出	660,000	0	0	0	0	0	0	1,652,000
事業費支出	350,000	260,000	300,000	900,000	262,000	75,000	0	14,832,000
教養娯楽費支出	0	0	0	0	0	0	0	21,000
水道光熱費支出	0	0	0	0	0	0	0	600,000
消耗器具備品費支出	10,000	10,000	0	0	90,000	5,000	0	1,231,000
消耗品費支出	10,000	10,000	0	0	90,000	5,000	0	991,000
器具什器費支出	0	0	0	0	0	0	0	240,000
保険料支出	1,000	0	0	0	0	0	0	76,000
賃借料支出	0	0	0	0	0	0	0	1,067,000
車輛費支出	0	0	0	0	0	0	0	303,000
諸謝金費支出	4,000	150,000	0	0	75,000	0	0	1,110,000
旅費交通費支出	12,000	21,000	0	0	55,000	0	0	297,000
役職員旅費	12,000	21,000	0	0	55,000	0	0	297,000
印刷製本費支出	20,000	12,000	0	0	19,000	0	0	281,000
修繕費支出	0	0	0	0	0	0	0	166,000
通信運搬費支出	52,000	24,000	0	0	0	20,000	0	1,615,000
会議費支出	20,000	0	0	0	12,000	0	0	32,000
広報費支出	0	0	0	0	0	0	0	1,317,000
業務委託費支出	30,000	13,000	0	0	0	0	0	1,746,000
手数料支出	1,000	20,000	0	0	6,000	50,000	0	265,000
租税公課支出	200,000	10,000	0	0	5,000	0	0	946,000
援護費・見舞金費支出	0	0	0	250,000	0	0	0	2,800,000

拠点区分別 資金収支予算内訳書

平成30年度

法人名： 社会福祉法人 横浜市中区社会福祉協議会
 事業： 社会福祉事業
 拠点： 法人運営及び区社協実施事業

9 / 14
(単位：円)

勘定科目	移動情報センター事業	ガイドボランティア事業	交通遺児援護事業	被災地支援事業	生活支援体制整備事業	中区社協助成金配分事業	福祉基金	合計
交通遺児援護費支出	0	0	300,000	0	0	0	0	300,000
雑支出	0	0	0	650,000	0	0	0	659,000
雑支出	0	0	0	650,000	0	0	0	659,000
事務費支出	16,000	0	0	0	20,000	0	0	3,286,000
福利厚生費支出(事務費)	10,000	0	0	0	0	0	0	45,000
旅費交通費支出(事務費)	0	0	0	0	0	0	0	120,000
研修研究費支出(事務費)	6,000	0	0	0	20,000	0	0	94,000
事務消耗品費支出(事務費)	0	0	0	0	0	0	0	200,000
事務費消耗品費支出(事務費)	0	0	0	0	0	0	0	100,000
器具什器費支出(事務費)	0	0	0	0	0	0	0	100,000
印刷製本費支出(事務費)	0	0	0	0	0	0	0	270,000
水道光熱費支出(事務費)	0	0	0	0	0	0	0	260,000
修繕費支出(事務費)	0	0	0	0	0	0	0	10,000
通信運搬費支出(事務費)	0	0	0	0	0	0	0	904,000
会議費支出(事務費)	0	0	0	0	0	0	0	17,000
業務委託費支出(事務費)	0	0	0	0	0	0	0	80,000
手数料支出(事務費)	0	0	0	0	0	0	0	120,000
保険料支出(事務費)	0	0	0	0	0	0	0	190,000
賃借料支出(事務費)	0	0	0	0	0	0	0	146,000
租税公課支出(事務費)	0	0	0	0	0	0	0	60,000
保守料支出(事務費)	0	0	0	0	0	0	0	380,000
渉外費支出(事務費)	0	0	0	0	0	0	0	190,000
諸会費支出(事務費)	0	0	0	0	0	0	0	200,000
分担金支出	250,000	0	0	0	0	0	0	1,760,000
分担金支出	250,000	0	0	0	0	0	0	1,760,000
助成金支出	0	0	0	0	0	4,890,000	0	12,785,000
助成金支出	0	0	0	0	0	4,890,000	0	12,785,000
負担金支出	0	0	0	0	0	0	0	340,000
負担金支出	0	0	0	0	0	0	0	340,000
事業活動支出計(2)	7,553,000	260,000	300,000	900,000	282,000	4,965,000	0	54,223,000
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	0	0	0	101,000	0	0	110,000	△3,708,000
< 施設整備等による収支 >								

拠点区分別 資金収支予算内訳書

平成30年度

法人名： 社会福祉法人 横浜市中区社会福祉協議会
 事業： 社会福祉事業
 拠点： 法人運営及び区社協実施事業

10 / 14

(単位：円)

勘定科目	移動情報センター事業	ガイドボランティア事業	交通遺児援護事業	被災地支援事業	生活支援体制整備事業	中区社協助成金配分事業	福祉基金	合計
< 収入 >								
施設整備等収入計(4)	0	0	0	0	0	0	0	0
< 支出 >								
施設整備等支出計(5)	0	0	0	0	0	0	0	0
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	0	0	0	0	0	0	0	0
< その他の活動による収支 >								
< 収入 >								
サービス区分間繰入金収入	0	0	0	0	0	0	0	723,000
その他の活動収入計(7)	0	0	0	0	0	0	0	723,000
< 支出 >								
サービス区分間繰入金支出	0	0	0	0	0	0	0	723,000
その他の活動支出計(8)	0	0	0	0	0	0	0	723,000
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	0	0	0	0	0	0	0	0
予備費支出(10)	0	0	0	1,291,000	0	0	2,310,000	14,332,000
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	0	0	△1,190,000	0	0	△2,200,000	△18,040,000
前期末支払資金残高(12)	0	0	0	1,190,000	0	0	2,200,000	18,040,000
当期末支払資金残高(11)+(12)	0	0	0	0	0	0	0	0

拠点区分別 資金収支予算内訳書

平成30年度

法人名： 社会福祉法人 横浜市中区社会福祉協議会
 事業： 社会福祉事業
 拠点： 法人運営及び区社協実施事業

11 / 14
(単位：円)

勘定科目	内部取引消去	拠点合計					
< 事業活動による収支 >							
< 収入 >							
会費収入	0	3,300,000					
正会費収入	0	3,000,000					
賛助会費収入	0	300,000					
寄附金収入	0	2,550,000					
寄附金収入	0	2,550,000					
経常経費補助金収入	0	13,100,000					
市区町村補助金収入	0	260,000					
横浜市補助金収入	0	260,000					
市社協補助金収入	0	6,277,000					
神奈川県社協補助金収入	0	300,000					
共同募金配分金収入	0	6,263,000					
一般募金配分金収入	0	3,392,000					
年末たすけあい配分金収入	0	2,650,000					
たすけあい福祉資金配分金収入	0	221,000					
受託金収入	0	28,045,000					
市区町村受託金収入	0	21,506,000					
横浜市受託金収入	0	21,106,000					
区受託金収入	0	400,000					
都道府県社協受託金収入	0	3,240,000					
神奈川県社協受託金収入	0	3,240,000					
市社協受託金収入	0	3,299,000					
事業収入	0	841,000					
参加費収入	0	15,000					
利用料収入	0	826,000					
負担金収入	0	1,512,000					
負担金収入	0	1,512,000					
利用料等負担金収入	0	400,000					
負担金収入	0	1,112,000					
受取利息配当金収入	0	117,000					
その他の収入	0	1,050,000					

拠点区分別 資金収支予算内訳書

平成30年度

法人名： 社会福祉法人 横浜市中区社会福祉協議会
 事業： 社会福祉事業
 拠点： 法人運営及び区社協実施事業

12 / 14
(単位：円)

勘定科目	内部取引消去	拠点合計					
雑収入	0	1,050,000					
事業活動収入計(1)	0	50,515,000					
< 支出 >							
人件費支出	0	21,220,000					
役員報酬支出	0	164,000					
職員給料支出	0	8,602,000					
職員俸給	0	5,197,000					
職員諸手当	0	2,960,000					
通勤手当	0	445,000					
非常勤職員給与支出	0	10,802,000					
法定福利費支出	0	1,652,000					
事業費支出	0	14,832,000					
教養娯楽費支出	0	21,000					
水道光熱費支出	0	600,000					
消耗器具備品費支出	0	1,231,000					
消耗品費支出	0	991,000					
器具什器費支出	0	240,000					
保険料支出	0	76,000					
貸借料支出	0	1,067,000					
車輛費支出	0	303,000					
諸謝金費支出	0	1,110,000					
旅費交通費支出	0	297,000					
役職員旅費	0	297,000					
印刷製本費支出	0	281,000					
修繕費支出	0	166,000					
通信運搬費支出	0	1,615,000					
会議費支出	0	32,000					
広報費支出	0	1,317,000					
業務委託費支出	0	1,746,000					
手数料支出	0	265,000					
租税公課支出	0	946,000					
援護費・見舞金費支出	0	2,800,000					

拠点区分別 資金収支予算内訳書
平成30年度

法人名： 社会福祉法人 横浜市中区社会福祉協議会
事業： 社会福祉事業
拠点： 法人運営及び区社協実施事業

13 / 14
(単位：円)

勘定科目	内部取引消去	拠点合計						
交通遺児援護費支出	0	300,000						
雑支出	0	659,000						
雑支出	0	659,000						
事務費支出	0	3,286,000						
福利厚生費支出(事務費)	0	45,000						
旅費交通費支出(事務費)	0	120,000						
研修研究費支出(事務費)	0	94,000						
事務消耗品費支出(事務費)	0	200,000						
事務費消耗品費支出(事務費)	0	100,000						
器具什器費支出(事務費)	0	100,000						
印刷製本費支出(事務費)	0	270,000						
水道光熱費支出(事務費)	0	260,000						
修繕費支出(事務費)	0	10,000						
通信運搬費支出(事務費)	0	904,000						
会議費支出(事務費)	0	17,000						
業務委託費支出(事務費)	0	80,000						
手数料支出(事務費)	0	120,000						
保険料支出(事務費)	0	190,000						
賃借料支出(事務費)	0	146,000						
租税公課支出(事務費)	0	60,000						
保守料支出(事務費)	0	380,000						
渉外費支出(事務費)	0	190,000						
諸会費支出(事務費)	0	200,000						
分担金支出	0	1,760,000						
分担金支出	0	1,760,000						
助成金支出	0	12,785,000						
助成金支出	0	12,785,000						
負担金支出	0	340,000						
負担金支出	0	340,000						
事業活動支出計(2)	0	54,223,000						
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	0	△3,708,000						
< 施設整備等による収支 >								

法人名： 社会福祉法人 横浜市中区社会福祉協議会
 事業： 社会福祉事業
 拠点： 法人運営及び区社協実施事業

拠点区分別 資金収支予算内訳書

平成30年度

14 / 14
(単位：円)

勘定科目	内部取引消去	拠点合計					
< 収入 >							
施設整備等収入計(4)	0	0					
< 支出 >							
施設整備等支出計(5)	0	0					
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	0	0					
< その他の活動による収支 >							
< 収入 >							
サービス区分間繰入金収入	0	723,000					
その他の活動収入計(7)	0	723,000					
< 支出 >							
サービス区分間繰入金支出	0	723,000					
その他の活動支出計(8)	0	723,000					
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	0	0					
予備費支出(10)	0	14,332,000					
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	△18,040,000					
前期末支払資金残高(12)	0	18,040,000					
当期末支払資金残高(11)+(12)	0	0					